

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 29年																											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~1日	10月 ~8日	10月 ~15日	10月 ~22日	10月 ~29日	11月 ~5日	11月 ~12日	11月 ~19日	11月 ~26日	12月 ~3日
カンピロバクター	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	122	83	118	142	87	98	44	48	25	16	28	18	28	34	27 (29)	22
病原性大腸菌	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	113	64	135	206	161	102	18	31	25	14	24	18	21	18	14 (16)	19
腸管出血性大腸菌	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
サルモネラ	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	11	10	13	18	29	9	3	2	3	2	2	4	8	4	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	15	9	21	32	17	24	6	6	2	7	3	4	1	4	0	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	17	15	23	27	16	22	4	1	5	6	3	3	4	5	3	2
腸炎ヒブリオ	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	3	0	5	9	11	5	2	5	1	1	5	2	0	1	0	1
ロタウイルス	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
ノロウイルス	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	6	11	13	8	2	1	2	0	1	0	0	0	0	2	5	5

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* その他の1件は、プレジオモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成29年第48週(11月27日~12月3日)

2 一類-二類-三類-四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9	1	1	1		5	1	
三類	0	発生なし	0							
四類	13	つつが虫病	12	5				6	1	
		レジオネラ症	1							1
五類全数	6	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2						1	1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		梅毒	3		1	1				

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第48週 11/27～12/3)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

インフルエンザの流行状況

1. インフルエンザ

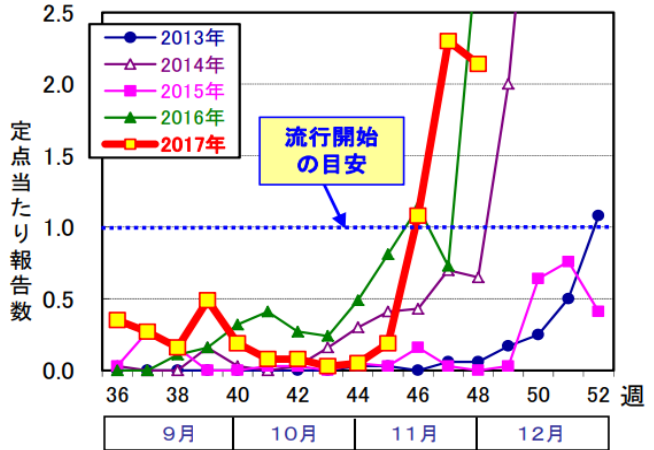
定点医療機関からの報告数は、79人(定点当たり2.14人)と前週とほぼ同程度でしたが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が1件報告されています。

インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。あわせて普通のかぜと同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。

ワクチン接種や手洗い、咳エチケットの励行などで感染を予防し、症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

2. つつが虫病

第46週に1件、第47週に2件、第48週に6件と報告が続いており注意が必要です。



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	79	2.14	0.76	→	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.78	
小児科	咽頭結膜熱	17	0.71	0.58	→	小児科	RSウイルス感染症	17	0.71	1.00	↑
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	91	3.79	2.32	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	158	6.58	11.87	→	眼科	流行性角結膜炎	5	0.63	0.83	
	水痘	10	0.42	1.27	→	眼科	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	23	0.96	0.52	→	眼科	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.28	→	基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.12	
	突発性発しん	10	0.42	0.39	→	基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.05	→	基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.09	→	基幹					

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ⇐ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	129	女性(10歳代)・1人、女性(40歳代)・1人、男性(80歳代)・2人、男性(90歳代)・1人
4	つつが虫病	6	10	男性(50歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・2人、女性(80歳代)・市外・1人
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	男性(60歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	上気道炎 気管支炎 細気管支炎	0	男	2017/10/05	鼻汁	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	13	男	2017/10/16	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎 細気管支炎	0	男	2017/10/23	鼻汁	RSウイルス エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.1) 気管支炎	0	男	2017/10/24	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(39.2)	0	男	2017/10/26	糞便	ハレコウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載